

【GIGA×指導の工夫・改善】 単元内自由進度学習の導入で生じた「新たな指導性」

<考察>

〔背景〕

- ・ 授業者は、学習者が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・方法・ペース等を選択できる環境等を整え、主体的かつ自ら学習を調整しながら学べるよう、授業を改善。

- ・「授業者はどのように学習者の状況を見取り、個に応じた指導を行うべきか」「他者参照の必要性や方法等をどのように指導するべきか」という課題が生じる。

- ・「授業者は教えなくてもいい」「全て学習者に委ねればよい」という考え方ではなく、授業者が発揮すべき新たな指導性を創出したい。

〔実践から見出した新たな指導性〕

① 授業構想段階における課題想定と対応計画
学習者が困りそうなこと、つまずきそうなことを事前に予想し、それぞれに応じた対応を計画しておく。

② 授業時のクラウド活用

(①を補うものとして) クラウドを積極的に活用し、授業者が学習者の取組状況や考えを瞬時に把握し、最適なタイミングで支援する。

③ 「他者参照」に関する説明

能動的な学びを推進するためには、学習者が学習方法や自分の考えなどを他者と比較し、客観的に見つめ直す機会を持つことが重要であり、そのことを随時指導する。

スプレッドシートで学習者一人一人の状況を把握し、支援が必要な生徒に対して即時対応する。

① 仮説を仮定する
② 仮説をスプレッドシートに記入
③ 仮説の検証

④ 学習者を助ける
⑤ 学習者の思考を促す
⑥ 学習者の思考を整理する

①事前に個別指導
を必要とする
場面を想定し、
対応を計画する。

[illegible]

②クラウドを活用し、学習者の取組状況や考えをリアルタイムで把握する。



介入のタイミング

- ・学習の停滞が生じている。
- ・事前に予想していたつまずき、誤概念の形成が見られる。

★ 他者参照に関する指導項目の設定【校内研修資料から】

- ・ 参照する目的～なぜ他者の方法や考えを参照すべきなのだろうか、
どのような効果を自らの学びにもたらすのだろうか
- ・ 参照したい他者の設定～誰の方法や考えを参照すべきなのだろうか
- ・ 参照する方法～どのように他者の方法や考えを参照すべきなのだろうか
- ・ 参照するタイミング～いつ他者の方法や考えを参照すべきなのだろうか